



Clip Pilot

Clip Pilot Type M

SANKEN

送出操作



SONY社製XDCAM Station内の素材の直接送出、またはプレイリストによる順次送出に対応

素材の選択・送出・演出管理を一元化し、スタジオサブでの運用効率と操作性を大幅に向上させます。XDCAMで収録したクリップや、内蔵ストレージ/INT/PD/SxSメディアに転送された素材を、操作画面上から選択して送出することが可能です。素材の確認から送出までを、ワンステップで行えるため、現場での即応性が大幅に向上します。

また、プレイリストに登録することで、並べた順番通りに送出することも可能。番組進行や、演出意図に沿った素材展開を、柔軟かつ効率的に実現します。

主な特長

- ◆XDCAM内の内蔵ストレージ/PD/SxSメディアに対応
- ◆素材を直接選択して即時送出可能
- ◆プレイリスト登録による順次再生に対応
- ◆タッチパネル/マウス操作で直感的に運用可能
- ◆番組構成に応じた柔軟な素材展開が可能



収録操作



収録中でも素材を切り出し、即座に送出可能。緊急対応にも強い設計

収録と送出の垣根をなくし、現場のスピードと柔軟性を最大限に引き出す運用が可能です。任意の名称で収録を開始することができ、素材の管理や番組構成に応じた記録が容易です。さらに、収録中のファイルから収録を止めることなく、任意の位置をIN点としてクリップを切り出し、プレイリストへ登録/送出することが可能です。これによりディレイ送出や緊急素材のポン出しなど、放送現場で求められる即応性に対応します。

主な特長

- ◆ファイル名を指定して収録可能(手動入力、プリセット入力)
- ◆切り出したクリップを即座にプレイリスト登録・送出
- ◆ディレイ送出や緊急対応に最適な運用性
- ◆収録中のファイルを転送することも可能

残時間表示



送出残時間の表示

オプション(Option-RTD)を追加する事により、各ビデオサーバーの送出時の残時間を、表示させることができます。

表示デザインは自由に変更が可能です。



高機能・低コストで実現する素材送出コントロールシステム。

Clip Pilot type-Mは、SONY社製XDCAM Stationをはじめ、各社ビデオサーバーに対応した**素材送出専用コントロールシステム**です。1つの操作画面から最大3台のビデオサーバーを同時制御でき、スタジオサブでの運用において高い操作性と効率性を提供します。従来、スタジオサブでファイルサーバー送出システムを構築するには、非常に高価な専用機材が必要でしたが、Clip Pilotを導入することで、**複数のビデオサーバーの制御システムを低コストで構築**することが可能です。

本カタログの内容に関するお問合せは

SANKEN 三研メディアプロダクト株式会社
http://www.sanken-m.co.jp

＜トラスティ・エンジニアリング事業部＞
〒243-0021
神奈川県厚木市岡田3088 ケーオービル A棟 4F
TEL：046-229-4834
E-mail: trusty_info@sanken-m.co.jp



特 徴

システム構成の柔軟性

- ◆ノートPCやワークステーションなど、設置スペースや運用形態に応じた自由な機材構成が可能
- ◆既設のVTRシステムからの移行もスムーズで、運用変更の負担を最小限に抑えたファイル送出が可能

操作性・制御機能

- ◆3台のビデオサーバーを1画面で同時制御可能
- ◆スイッチャリー連動によるスタート／NEXT CHG送出制御
- ◆収録中でも任意位置からの再生制御が可能(ディレイ送出対応)
- ◆決められた時刻に素材サーバーからビデオサーバーへの自動転送アプリケーション(別売)も提供可能

CLIP管理・送出機能

- ◆CLIPの並び替えや頭出し位置指定が簡単に可能
- ◆番組ごとのCLIP管理と送出に対応
- ◆SONY社製XDCAM Station内の複数メディア(内蔵／PD／SxS)を混在させたプレイリスト作成・送出が可能
- ◆CLIPの切り出し、頭出し位置の自動設定、CLIP名(日本語対応)やサムネイルの変更も可能
- ◆複数CLIPのシームレスな連続再生(ハイライト送出)に対応

転送・接続性

- ◆転送制御機能により、送出機器間やNAS間でのCLIPコピーが容易
- ◆豊富なインターフェースにより、スタジオとの高い接続性を確保

商品構成

- ◆CP-M100(Clip Pilot Type-M)
 - HWは別途見積り/1年目以降はサポート契約/リモートアプリAnyDesk搭載
- ◆Option-GPI
 - PC組み込みパラレルボードによるGPIインターフェース。外部とのパラレルインターフェースに使用。
 - タリー連動や外部キーなどと接続するためのオプション(16In/Out)
- ◆Option-RTD(Remain Time Display)
 - 残時間表示機能。ソフトウェアでON/OFF、Display Port⇄HDMI変換は付属(モニターは別途)
- ◆Option-Zabbix
 - Clip Pilot監視ツール(Clip PilotテンプレートのZabbixインストール必要)の提供後付けの場合は現地インストール作業、接続確認作業費は別途見積り

3台同時制御画面



直感的な操作で、最大3台のビデオサーバーを個別に送出可能
画面上で最大3台のビデオサーバーを個別に送出制御することが可能です。各サーバーの状態(STANDBY／OA／NEXT)は、色分け表示により視認性が高く、送出状況を瞬時に把握できます。

操作画面構成

- ◆ツールボタン・各種ステータス表示領域
 - 送出制御に必要な機能を集約。状態表示や操作補助機能を搭載。
- ◆再生制御領域
 - 再生ポートの制御用ボタン、再生映像の表示が可能。
- ◆送出パネル
 - 個別のクリップ選択・送出制御が可能。

表示モード



通常表示／拡大表示の2モードで、運用に応じた柔軟な操作が可能
本システムでは、操作画面に「通常表示モード」と「拡大表示モード」の2種類を用意。運用状況や作業内容に応じて、最適な表示環境を選択できます。
拡大表示モードでは、プレイリストとビデオサーバー内のクリPPER一覧を同時に表示。左側にプレイリスト、右側にクリPPER一覧が配置されており、視認性と操作性を両立した画面設計となっています。

主な機能

- ◆クリPPER一覧から直接プレイリストへ登録可能
 - 登録後すぐに並び替えが可能。送出準備の効率化を実現。
- ◆視認性の高い画面構成
 - プレイリストと素材一覧を同時に確認でき、送出ミスを防止。

クリップ編集・管理・プレイリスト編集

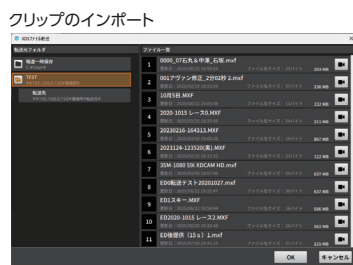


素材の切り出し・整理・視認性向上を簡単操作で実現
ビデオサーバー内のファイルに対して、クリップ単位の編集・管理作業を直感的に行うことが可能です。編集モードを活用することで、送出前の素材整理や視認性の向上を効率的に行えます。

プレイリストの編集機能

- ◆1台のビデオサーバーに対し最大10個のプレイリストを用意
 - 運用に合わせて切り替えて送出することができます。
- ◆登録したクリップのイン点(頭出し位置)、アウト点を打ち直すことができます。
- ◆プレイリストの並び替え
 - プレイリスト内で再生順に並び替えを行うことができます。
- ◆EDLクリップの作成
 - 複数のクリップを選択し、EDLクリップを生成することが可能です。
 - EDLクリップは、素材をシームレスに連続再生するハイライト送出に対応
- ◆クリップのインポート機能
 - NASにアップロードされている素材ファイルを、ビデオサーバーにインポートすることが可能です。
- ◆サムネイルの差し替え
 - 視認性向上のため、任意位置をサムネイルとして設定可能。素材の識別性を高め、送出ミスの防止

クリップ転送



XDCAM Stationやネットワーク上の素材を、簡単操作で転送可能
送出を止めることなく、XDCAM内の素材(内蔵ストレージ/PD/SxS)を他のXDCAM或いは、素材サーバーへ転送(エクスポート機能)することが可能です。
また、素材サーバー内の素材をビデオサーバーへ転送(インポート機能)が可能です。

主な特長

- ◆PD/SxSメディアから内蔵ストレージへの素材転送に対応
- ◆ネットワーク上のXDS素材も同様に転送可能
- ◆クリップ転送ボタンによる簡単操作
- ◆転送先選択後、即時転送が可能
- ◆番組素材の保管・共有・送出準備を効率化